

隠岐地区(水産)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
隠岐-1	「隠岐のいわがき」販売強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「隠岐のいわがき」の出荷数量は過去最高の85万個に伸びたが、一方で、他産地との競合による単価の下落も心配されている。 ・消費者の食の安全・安心への関心の高まりを背景に、高レベルの衛生管理と規格化に基づいた商品「隠岐のいわがき清海」が、出荷数量を堅調に伸ばしている。 ・他産地との競合も懸念される中で、いわがき養殖の成長を図るためには、消費者ニーズの把握と信頼の確保に努め、販路の維持・開拓を継続していく必要がある。 ・魚類による食害や過密養殖による成長不良を原因とする生産ロスが発生しており、養殖生産の安定化が課題。 	養殖イワガキの販売個数(万個)	70	85	122%
			養殖イワガキの販売金額(億円)	1.45	1.93	133%
隠岐-2	漁業の担い手育成・確保プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・自営漁業就業者については、支援事業の活用などにより、確実に確保されてきている。 ・雇われ漁業就業者の確保についても、新規就業者の加入が見られている。 ・一方、特に自営漁業においては、就業した後も厳しい漁家経営を強いられるため、漁業所得向上のための取組の強化が必要。 ・今後、新規就業者の定着を進めるため、十分な収入が得られる漁業経営モデルの構築や、必要な支援制度の整備等が必要と考えられる。 	新規自営漁業就業者数(計画期間中)(人)	3	7	233%
隠岐-3	隠岐のさかな消費拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント等に積極的に参加して、島内外において「隠岐のさかな」を広くPRすることができた。 ・島内における「隠岐のさかな」の消費拡大を図る必要がある。 ・島内の小中学生等を対象とした料理教室の開催や学校給食での地元産水産物の使用などにより、若い世代への魚食普及活動を推進した。 ・消費者等のニーズに合わせ、ライフスタイルの変化に応じたより使いやすい形態の製品や地元産にこだわった製品作りに努めた。 	新たな加工品開発数(計画期間中)(品)	6	12	200%
			料理教室等の参加人数(計画期間中)(人)	1,000	835	84%
隠岐-4	海のゆりかごづくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町では、海藻センターを拠点に、今後、藻場造成や新たな海藻養殖のための種苗生産とともに増養殖した海藻について、加工品開発のほか、再生可能エネルギー等の非食用への利用等、広く有効活用するための研究、調査を実施している。 ・減少している藻場の復活に向けて、実態調査・造成が取り組まれている。 ・新たな海藻養殖試験を実施するとともに、養殖した海藻を用いた加工品の製造に積極的に取り組んでいる。 	藻場造成箇所数(計画期間中)(箇所)	2	5	250%
			新たな海藻養殖対象種数(計画期間中)(種類)	2	5	250%